

国道3号 ひろかわ 広川町～やめ 八女市

第2回 説明資料

令和元年11月8日

国土交通省 九州地方整備局

## 本日、ご審議いただく内容

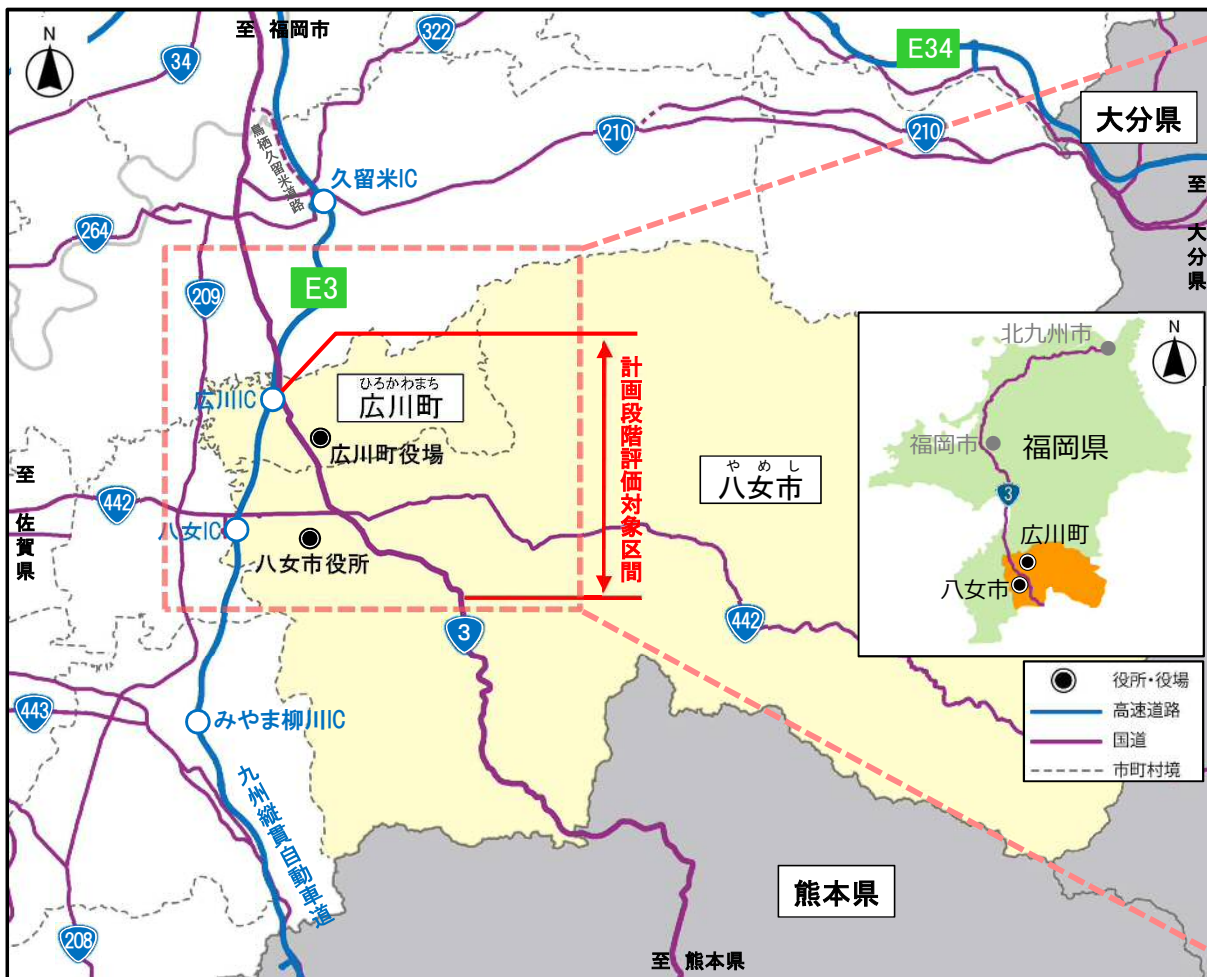
- |                 |     |    |
|-----------------|-----|----|
| 1. 前回までの審議内容    | ・・・ | 2  |
| 2. 第1回意見聴取の概要   | ・・・ | 7  |
| 3. 第1回意見聴取の結果   | ・・・ | 14 |
| 4. 複数案の設定       | ・・・ | 19 |
| 5. 第2回意見聴取方法(案) | ・・・ | 28 |

# 1. 前回までの審議内容

# 1-1. 評価対象区間

- 八女市、広川町は、福岡県南部に位置し、九州縦貫自動車道の八女IC、広川ICが存在するほか、九州を南北に縦貫する国道3号、九州を東西に横断する国道442号が分岐・合流するなど道路交通網の結節点を有する地域。
- 評価対象区間は、福岡県を縦貫する国道3号のうち、八女市と広川町の市街地を通過する2車線区間。

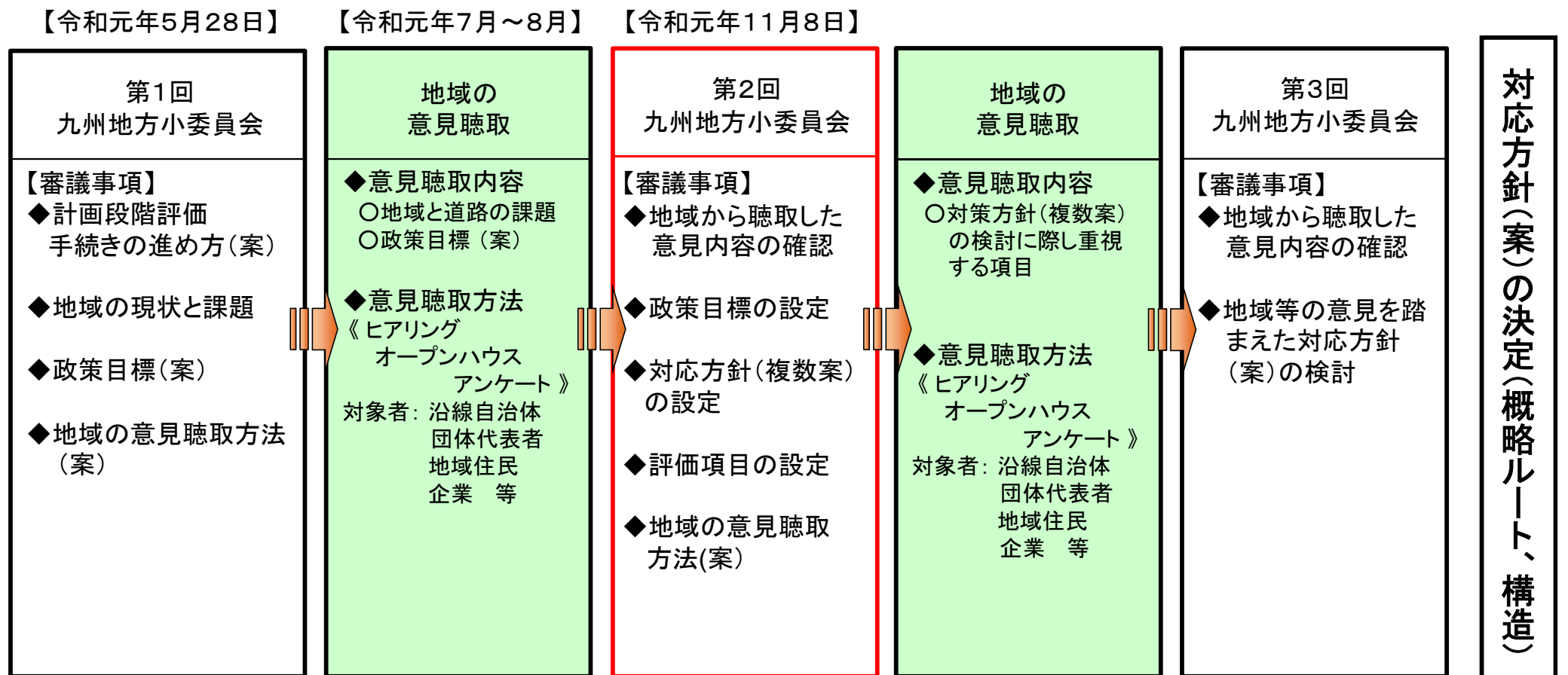
【広域図】



【拡大図】(評価対象区間)



# 1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地方小委員会



# 1-4. 政策目標の設定

	地域の現状と課題	道路による要因	政策目標(案)
【暮らし】	<b>①-1 渋滞</b> ○対象区間には主要渋滞箇所が点在 ○市街地の区間で著しい旅行速度の低下が発生	○2車線の交通容量を上回る交通が集中 ○大型車混入率が著しく高い	<b>①交通機能の向上による交通環境の改善</b>
	<b>①-2 安全</b> ○死傷事故率は県内平均を上回る ○追突事故が6割を占める	○渋滞による断続的な発進・停止、沿道施設への出入りに伴う加減速が発生	
【防災】	<b>②防災</b> ○災害時に高速道路通行止めにより交通が集中 ○対象区間の国道3号は浸水想定区域を2箇所通過	○大型車も利用可能な国道3号の代替路がない	<b>②信頼性の高い道路ネットワークの確保</b>
【産業】	<b>③-1 製造業</b> ○国道3号沿線地域には多数の工業団地が立地 ○渋滞により物流コストが増加しているなど、企業活動に影響	○物流交通としての大型車交通量が国道3号に集中 ○渋滞による所要時間の増大	<b>③速達性・定時性の向上による産業活動の支援</b>
	<b>③-2 農業</b> ○八女地区(八女市・広川町)は農業が盛んな地域で、多数の品目で県内上位を占める ○県外への輸送時に広川ICへのアクセスが課題		
【医療】	<b>④医療</b> ○八女市の第3次医療施設30分圏カバー率は人口の約2割がカバーできていない ○八女市山間地域の救急搬送時間は福岡県平均を大きく上回る	○渋滞による所要時間の増大 ○国道3号と山間地域間のアクセス性が悪い	<b>④速達性向上による救急医療活動の支援</b>
【観光】	<b>⑤観光</b> ○観光資源に恵まれる奥八女地域で観光客数が伸び悩み		<b>⑤速達性・定時性の向上による観光振興の支援</b>

## 2. 第1回意見聴取の概要



## 2-1. 第1回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体・企業ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスなど、以下の内容を実施した。

### ■意見聴取期間

令和元年7月1日（月）～令和元年8月31日（土）

### ■意見聴取の実施状況

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	ヒアリング	令和元年7月10日（水） ～7月31日（水）	福岡県、八女市、広川町	3自治体	
団体等			商工会、JA、観光案内所、観光協会、タクシー協会、 警察署、消防本部、医師会、教育委員会	12 団体	全 93票
企業			製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、 宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	81 社	
地域住民	アンケート	令和元年7月1日（月） ～7月31日（水）	八女市 約5,400戸、広川町 約1,700戸 （合計7,100戸）	3,370 票	全 3,992票
	オープン ハウス	【平日】：2日間 令和元年8月1日（木） 令和元年8月2日（金） 【休日】：2日間 令和元年8月3日（土） 令和元年8月4日（日）	3箇所 八女市役所 黒木支所 : 平日のみ 広川町町民交流センター「いこっと」 : 平日・休日 八女市民会館「おりなす八女」 : 休日のみ	497 票	
広域的な 道路利用者	留置き	令和元年7月1日（月） ～8月31日（土）	道の駅（たちばな、鹿北） 九州縦貫自動車道SA・PA （広川SA（上り）、基山PA（下り））	125 票	

#### 【設問事項】

○国道3号広川町～八女市の課題に対する意見を伺う

## 2-2. 第1回意見聴取の実施状況 ~ヒアリング~

### ■ヒアリング実施状況



【団体(商工会): 広川町】



【製造業: 広川町】



【団体(JA): 八女市】



【卸、小売業: 八女市】

### ■対 象

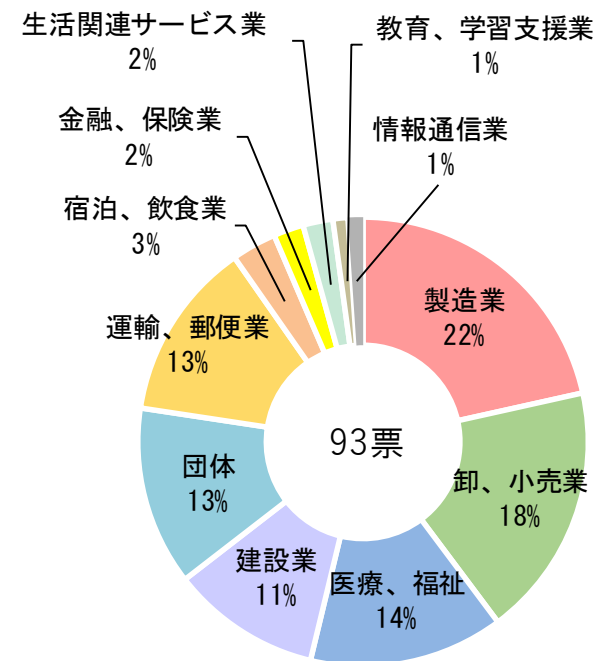
自治体: 3自治体

団体等: 12団体

企 業: 81社

全: 93票

### ■ヒアリング実施団体・企業の内訳



# 2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

## ■住民アンケート実施内容

### アンケートはがき記入例

下記を参考に、**同封のはがき**へ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いいたします。

広川町～八女市の現状について、地域にお住まいの皆様のご意見を広く伺うことを目的としています。そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。**回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。**  
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

- ・あなたご自身のことに関する設問は、該当する番号に○をつけてください。
- ・単一回答の設問は、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。
- ・5段階評価の設問は、各課題の該当する箇所1つだけ○をつけてください。
- ・自由回答の設問は、具体的な内容を回答してください。

### 【はがき表面下部分・記入例】

下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

◆あなたご自身の事について、該当する番号に○をつけてください。

住所 **1** 八女市 2. 広川町

性別 **1** 男性 2. 女性 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 **4** 40代  
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問1 普段、広川町～八女市の国道3号をどの程度利用していますか？(単一回答)  
**1** まほ毎日(週4～7回) 2. 週に数回程度(週2～3回)  
3. 月に数回程度(週1回未満) 4. ほとんど利用しない  
5. 利用したことがない

問2 広川町～八女市の国道3号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？(単一回答)  
**1** 自動車 2. 公共交通(バス、タクシー) 3. バイク  
4. 自転車 5. 徒歩

問3 広川町～八女市の国道3号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？(単一回答)  
**1** 通勤・通学 2. 仕事(営業・商談・運送など) 3. 私用(買い物・食事・娯楽など)  
4. その他 [ ]

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。  
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

- 該当する番号に○を付けてください
- 当てはまる番号に○を付けてください
- 当てはまる番号に○を付けてください
- 当てはまる番号に○を付けてください

### 【はがき裏面・記入例】

問4-1 国道3号(広川町～八女市)について、5つの課題(7項目)を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)で評価してください。(5段階評価)【1～5の課題それぞれ該当する箇所1つだけ○をつけてください】

番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
1-1	交通が集中することによる渋滞が発生	<input checked="" type="radio"/>				
1-2	交通事故が多く、道路利用者等が危険		<input checked="" type="radio"/>			
2	災害時の道路ネットワークの信頼性が低い				<input checked="" type="radio"/>	
3-1	連環性が低く地域の製造業等の企業活動に影響			<input checked="" type="radio"/>		
3-2	インターチェンジへのアクセス性等、地域の農産物の出荷等への影響	<input checked="" type="radio"/>				
4	救急医療施設への連環性が低い		<input checked="" type="radio"/>			
5	観光地へのアクセシビリティが悪く観光振興を阻害					<input checked="" type="radio"/>

問4-2 「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理由
1-1	(記入例) 日常的に●●で困っていることがあるので、●●することが必要ではないかと思う
1-1	
2	
3-1	
3-2	
4	
5	

問4-3 「問4-1」の課題以外で、問題だと思える事があればお書きください。(自由回答)

問5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)

各課題それぞれについて、  
・そう思う  
・ややそう思う  
・あまりそう思わない  
・そう思わない  
・わからない  
この5つの選択肢の中で  
ご自身の考えに当てはまる  
箇所1つだけ  
○を付けてください

問4-1の質問で、  
なぜその選択肢を選んだのか  
詳しい理由を教えてください

問4-1の課題以外で、  
自身が感じている問題が  
あれば教えてください  
その他に何かご意見などが  
ありましたらご記入ください

## ■住民アンケート調査票・回収状況



対象：	地域住民
配布：	八女市 約5,400戸 広川町 約1,700戸
意見聴取数：	3,370票

## 2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

### ■オープンハウス 実施状況

対象：	地域住民
会場：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八女市役所 黒木支所</li> <li>・広川町町民交流 センター「いこっと」</li> <li>・八女市民会館 「おりなす八女」</li> </ul>
意見聴取数：	497票

#### 【平日】



■令和元年8月1日(木)  
八女市役所 黒木支所



■令和元年8月2日(金)  
広川町町民交流センター「いこっと」

#### 【休日】



■令和元年8月3日(土)  
広川町町民交流センター「いこっと」



■令和元年8月4日(日)  
八女市民会館「おりなす八女」

# 2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ~住民アンケート・オープンハウス・留置き~

## ■アンケート回収ボックスの設置

### 【留置き】



### 【ポスター】

対 象：	広域的な道路利用者
設置箇所：	道の駅 2箇所、SA・PA 2箇所
意見聴取数：	125票



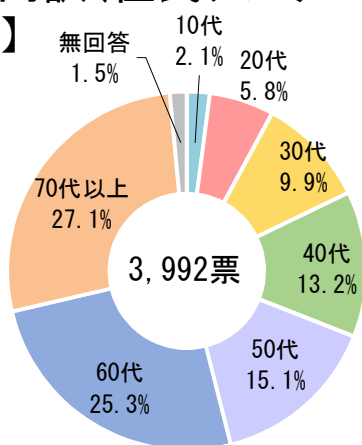
■道の駅たちばな用掲示ポスター



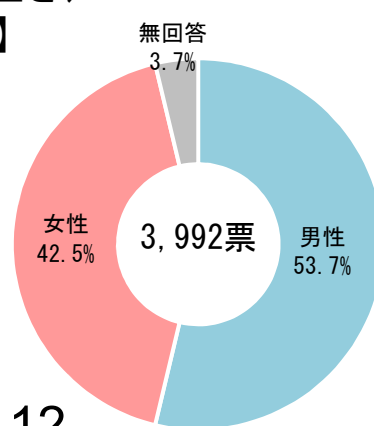
■SA・PA用掲示ポスター

## ■回答者の内訳(住民アンケート・オープンハウス・留置き)

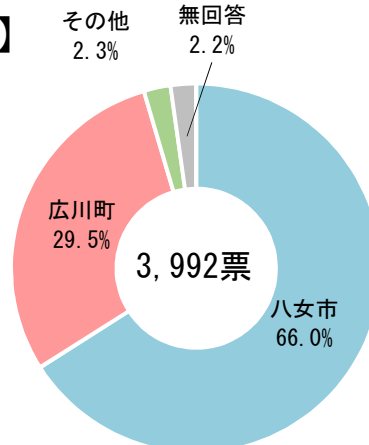
### 【年代】



### 【性別】



### 【居住地】



# 2-4. 第1回意見聴取の実施状況 ～広報～

## ■ 広報

①ホームページ	: 国土交通省福岡国道事務所ホームページに意見聴取のページ（記者発表）を開設
②広報ポスター・チラシ	: 市役所、町役場、道の駅等にポスターを掲示 : 広報チラシを配布（八女市、広川町）
③地域への情報提供	: F M八女でのオープンハウスの告知（八女市）

### ①ホームページ（R1. 6. 28記者発表）



国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和元年6月28日  
九州地方整備局  
福岡国道事務所

国道3号広川～八女の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価<sup>※</sup>の手続きを進めております「国道3号広川～八女」に關し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。  
※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対案案の比較評価を行うものです。

**アンケート調査について**

○実施期間: ①「沿線住民の方」令和元年7月1日（月）から7月31日（水）  
②「その他の地域にお住まいの道路利用者」令和元年7月1日（月）から8月31日（土）

アンケート調査対象者

①沿線住民の方 (令和元年7月1日(月)から7月31日(水))	・面談により配布 ・広川町、八女市 ※無作為抽出
②その他の地域にお住まいの道路利用者 (令和元年7月1日(月)から8月31日(土))	・道の駅「たらばな」(豊北)の情報コーナーに設置 ・九州自動車道 広川IC(2497) (上り) ・遠山IC(2477) (下り)のIC/PAに設置

**ヒアリング調査について**

○実施期間: 令和元年7月10日（水）から7月31日（水）

○調査対象等: 福岡県、広川町、八女市及び、国道3号の利用が考えられる団体企業等

○実施方法: 対面方式

**オープンハウスについて**

○実施期間: 令和元年8月1日（木）から8月4日（日）  
(半日) 9時から16時、(土・日) 10時から16時

○備 考: 荒天が予想される場合は延期とし、前日の17時までに福岡国道事務所ホームページでお知らせします。

実施場所	実施日
八女市役所 黒木支所	・令和元年8月1日（木）
広川町民交流センター「いこっと」	・令和元年8月2日（金）、令和元年8月3日（土）
八女市民会館「おりなす八女」	・令和元年8月4日（日）

【問合せ先】: 国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所  
技術副所長 平野 義孝 計画課長 藤井 正樹  
(代表) 電話: 092-681-4731 (直通) 電話: 092-682-7747 FAX: 092-682-7763  
E-mail: fukkokoku@mit.go.jp URL: http://www.qsr.mit.go.jp/fukkokoku/

### ②広報ポスター・チラシ

国道3号(広川町～八女市)道路計画に関する意見をお聞かせください

アンケート調査期間

実施日	時間	場所
8月1日(木)	9:00～16:00	八女市役所 黒木支所
8月2日(金)	9:00～16:00	広川町民交流センター「いこっと」
8月3日(土)	10:00～16:00	八女市民会館「おりなす八女」
8月4日(日)	10:00～16:00	八女市民会館「おりなす八女」

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越し下さい。

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所  
福岡県 八女市 広川町  
TEL: 092-682-7747 (直通) 受付: 9時～17時  
URL: http://www.qsr.mit.go.jp/fukkokoku/

【オープンハウス会場アクセスMAP】

**八女市役所 黒木支所**

<住所> 八女市黒木町今1314-1  
<開催日> 8月1日 9:00～16:00

**広川町民交流センター「いこっと」**

<住所> 八女郡広川町大字新代1965-1  
<開催日> 8月2日 9:00～16:00  
8月3日 10:00～16:00

**八女市民会館「おりなす八女」**

<住所> 八女市水町602-1  
<開催日> 8月4日 10:00～16:00

※各会場、荒天が予想される場合は延期とし、オープンハウス前日の17時までに福岡国道事務所ホームページでお知らせします。  
※8月1日(木)～8月11日(土)期間、実施後1週間が経過した場合は「道の駅たらのばな」(豊北)の情報コーナー、および、九州自動車道「広川IC(2497) (上り)」「遠山IC(2477) (下り)」のインターチェンジコーナーにおいて、アンケート調査結果発表を認識していただきます。

### ③地域への情報提供（FM八女）

【FM八女80.1MHz】 八女市からのお知らせ (Web版)

FM八女は、福岡県八女市のコミュニティFMラジオ局です。 周波数80.1MHzで、24時間放送中です。このプログラムは、FM八女が毎日(7:00、12:20、20:00)放送している「八女市からのお知らせ」のWeb版です。

2019年7月29日曜日

建設課から国道3号の道路計画に関する説明会のご案内について

国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所では、八女市と広川町の国道3号の道路整備の計画検討を進めるにあたり、次の日程で説明会を行います。説明会は、2回開催し、申込は不要です。

1回目の  
日時: 8月1日、木曜日、午前9時から午後4時まで。  
場所は、八女市役所 黒木支所です。

2回目の  
日時: 8月4日、日曜日、午前10時から午後4時まで。  
場所は、八女市民会館 おりなす八女です。

詳細は、福岡国道事務所計画課、電話092-682-7747にお問い合わせください。どなたでもご参加いただけます。「道路交通や地域の課題」等について、皆様のご意見をぜひお聞かせください。

# 3. 第1回意見聴取の結果

# 3-1. 第1回意見聴取の結果<地域の現状と課題>

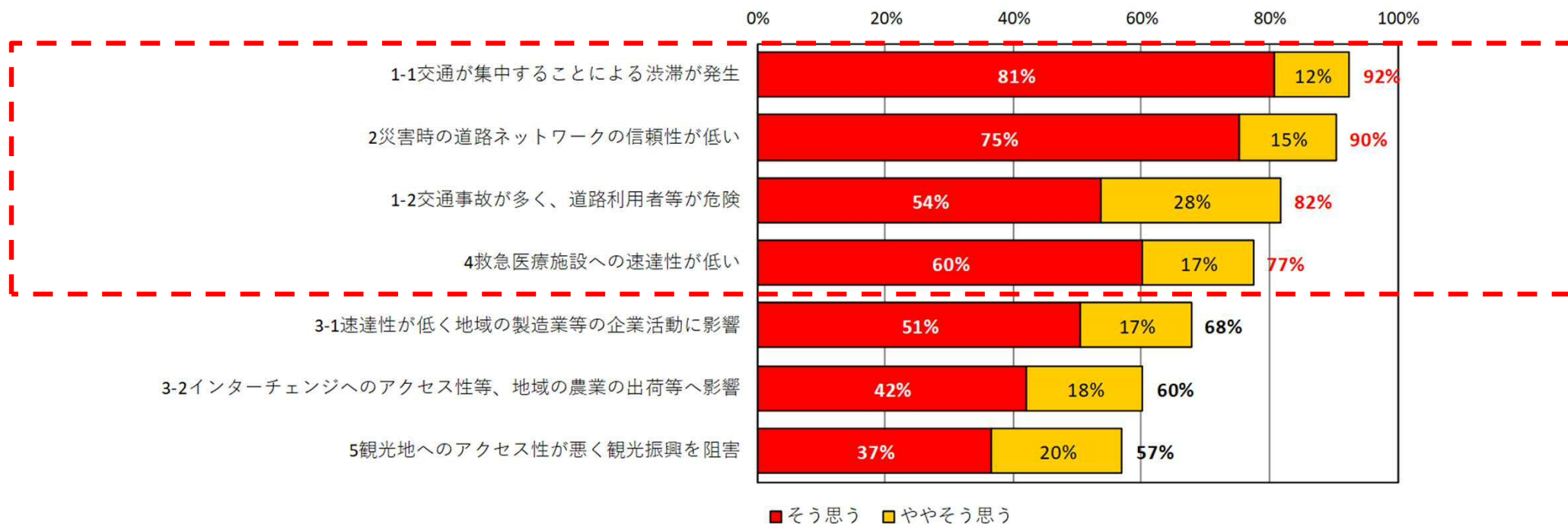
## ■ 団体・企業（ヒアリング）

- 「1-1交通が集中することによる渋滞が発生」「2災害時の道路ネットワークの信頼性が低い」「1-2交通事故が多く、道路利用者等が危険」「4救急医療施設への速達性が低い」について概ね8割の住民が『そう思う』、『ややそう思う』と回答

### 【質問】

国道3号（広川町～八女市）について、5つの課題（7項目）を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）で評価してください。（5段階評価）

【回答】 団体・企業（ヒアリング） 93票





## 3-2. 第1回意見聴取の結果<地域の現状と課題>

### ■ 地域住民(住民アンケート・オープンハウス・留置き)

- 「1-1交通が集中することによる渋滞が発生」について8割を超える住民が『そう思う』、『ややそう思う』と回答
- オープンハウスでは「1-2交通事故が多く道路利用者等が危険」「2災害時の道路ネットワークの信頼性が低い」「4救急医療施設への速達性が低い」について概ね8割の住民が『そう思う』、『ややそう思う』と回答

#### 【質問】

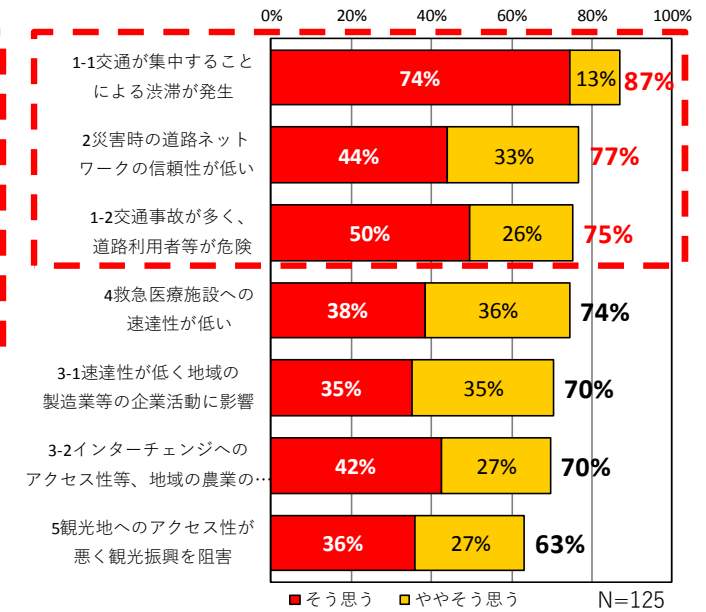
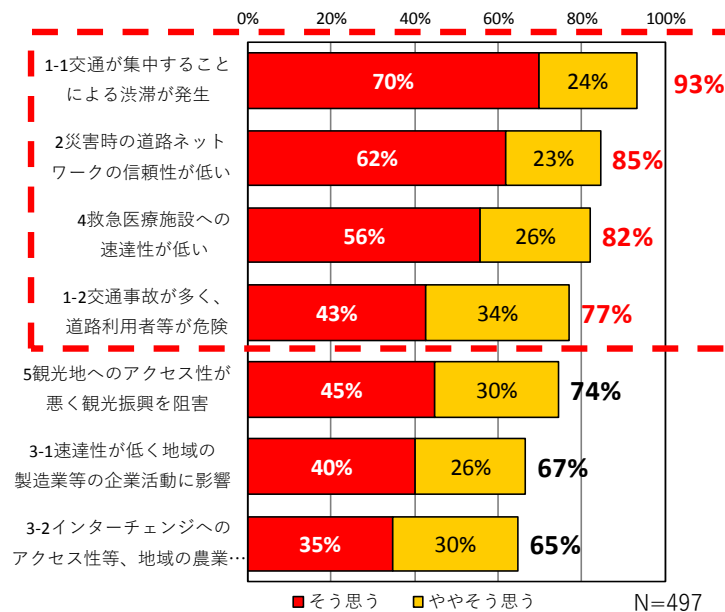
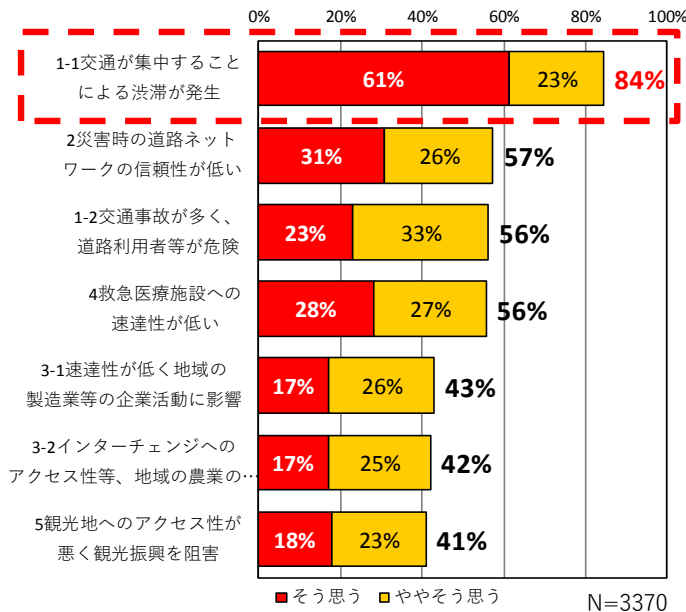
国道3号（広川町～八女市）について、5つの課題（7項目）を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）で評価してください。（5段階評価）

【回答】 地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き） 3,992票

・ 住民アンケート 3,370票

・ オープンハウス 497票

・ 留置き 125票



## 3-3. 第1回意見聴取の結果 その他の課題に対する意見

### ■ その他課題・自由意見

- その他の課題については、「事故による通行止め時の脆弱性」や「ネットワークの不備」「道路構造への不満」等の意見が寄せられた。
- 自由意見についてはバイパス整備等による渋滞解消を望む意見が寄せられる中で、高速料金の工夫や県道整備等による改善を望む意見も寄せられた。

【質問】 国道3号（広川町～八女市）について、5つの課題（7項目）以外で、問題だと思う事があれば教えてください。（意見数 489件）

- 高速道路が事故等で通行止めの際、国道3号に自動車が集積し町全体の交通が機能しない。
- 中心部を南北に走る国道3号が渋滞しているために、東西の通り抜けが非常に困難。
- 車線数や自転車走行空間、歩道の不備、右折レーンの不足、信号が多いなど道路構造への問題指摘。
- 高齢化が進む中、公共交通をもっと充実させて欲しい。

【質問】 その他ご意見がありましたらお聞かせください。（意見数 547件）

- 慢性的な渋滞状況を解消するためにバイパス整備等の早期整備を早く進めて欲しい。
- 大型車の高速道路料金を下げて国道3号の通行量を減らすような料金面での工夫をしてほしい。
- 広川～久留米の混雑緩和対策や八女（立花）～熊本県境方面も安全面や代替路対策を実施すべき。
- 県道久留米立花線（通称藤山線）の事業を進めて有効活用をすべき。
- 国道3号の維持・管理費等に税金を投入すべき。
- 国道3号については部分的な改良でもよいのではないか。

■ ：団体・企業ヒアリング □ ：オープンハウス・住民アンケート

## 3-4. 第1回意見聴取の結果 ～自治体ヒアリング～

### ■自治体

- 自治体からは、渋滞、防災、医療、産業振興等、政策目標に関して重視する意見が寄せられた。

(自治体からの主な意見)

	主な意見
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広川八女間は<b>南北に結ぶ主要な幹線道路</b>であり、東西からの交通は国道3号を通過、経由するため、<b>交差点においては渋滞や混雑が発生</b></li> <li>・渋滞や混雑が原因とみられる<b>追突事故が多数発生</b>している。さらに、一部区間は通学路となっており特に<b>歩行者等の安全確保</b>が望まれる</li> <li>・国道3号は周辺の緊急輸送道路が合流する路線であり、<b>災害時には交通が集中</b>するにもかかわらず2車線であることから<b>災害時のネットワークの信頼性が低い</b></li> <li>・国道3号は2車線で混雑しているため、九州縦貫自動車道広川ICとのアクセス性が脆弱で、速達性が低く<b>地域の製造業などの企業活動に影響</b></li> <li>・国道3号は2車線で混雑しているため、九州縦貫自動車道広川ICとのアクセス性が脆弱であり、<b>救急医療施設への速達性が低く</b>なっている</li> <li>・国道3号が混雑しているために沿線に立地していない観光地は、<b>観光周遊ルートから外される傾向があり観光振興を阻害</b></li> </ul>
八女市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>生活交通と産業交通が混在</b>し、大型車等の<b>通過交通が流入</b>することで渋滞が発生し、<b>路線バスの遅延が発生</b></li> <li>・片側1車線の道路を<b>大型車が通行し視界も悪く、沿線施設への進入時等の事故が多く発生</b></li> <li>・大雨等による<b>高速の通行止め時には交通が集中し、豪雨時には道路が冠水</b>し通行不能となり<b>防災活動に支障</b></li> <li>・キウイやブドウ、イチゴなど<b>県内有数の農産物を関東・関西方面へ出荷</b>しているが、<b>国道3号の渋滞により広川インターまでのアクセスが悪い</b></li> <li>・<b>救急搬送は市外（主に久留米市）への依存度が高い傾向</b>にあるが、<b>国道3号の渋滞により搬送時間が長くなる傾向</b></li> <li>・奥八女地区に多くの観光資源を有し、新たな観光拠点も多数整備を行ってきたが、<b>観光拠点付近に行き着くまでの幹線道路等が渋滞</b>していることで<b>観光客に敬遠される傾向</b>にあり、客数の伸び悩みが見られる</li> </ul>
広川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道3号は慢性的な渋滞で、特に朝夕は<b>通行を避ける傾向</b>にあり、<b>接続する主要な幹線道路でも</b>国道との交差点区間で<b>渋滞が発生</b></li> <li>・<b>歩道の狭小区間もあり</b>、大型車の通行が多い中で、<b>自転車通行者や歩行者は危険な状態</b></li> <li>・九州縦貫自動車道が<b>通行止等になれば</b>、車両集中により<b>国道3号は完全に麻痺</b>し、国道3号が町中心を縦断しているため横断が出来ない状況となり、<b>町全体に影響</b>を与える</li> <li>・国道3号沿線に2つの工業団地の<b>企業からも渋滞対策を望む要望</b>が出されており、<b>企業活動における損失</b>もあると考えている</li> <li>・人口減少対策として、安定した雇用の創出等のため、<b>広川東部地域に新たな工業団地等の拠点整備を進めている計画</b>を持っており、道路計画にあたっては、そうした<b>周辺開発が可能となるバイパス計画を要望</b></li> </ul>

## 4. 複数案の設定

# 4-1. 政策目標の設定<政策目標の検証>

## ■意見聴取結果による政策目標の検証

○地域の課題に対し、『そう思う』『ややそう思う』の回答が多く、とりわけ特に「渋滞」、次いで「災害」・「事故」が重要であり、設定した政策目標は妥当と確認。

○以上より、5つの政策目標を効率的かつ効果的に実現するために道路整備を実施。

### 【政策目標】交通機能の向上による交通環境の改善

(課題: 交通が集中することによる渋滞が発生)  
 について約8割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

(課題: 交通事故が多く、道路利用者等が危険)  
 について約6割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標】信頼性の高い道路ネットワークの確保

(課題: 災害時の道路ネットワークの信頼性が低い)  
 について約6割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標】速達性・定時性の向上による産業活動の支援

(課題: 速達性が低く地域の製造業等の企業活動に影響)  
 について約5割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

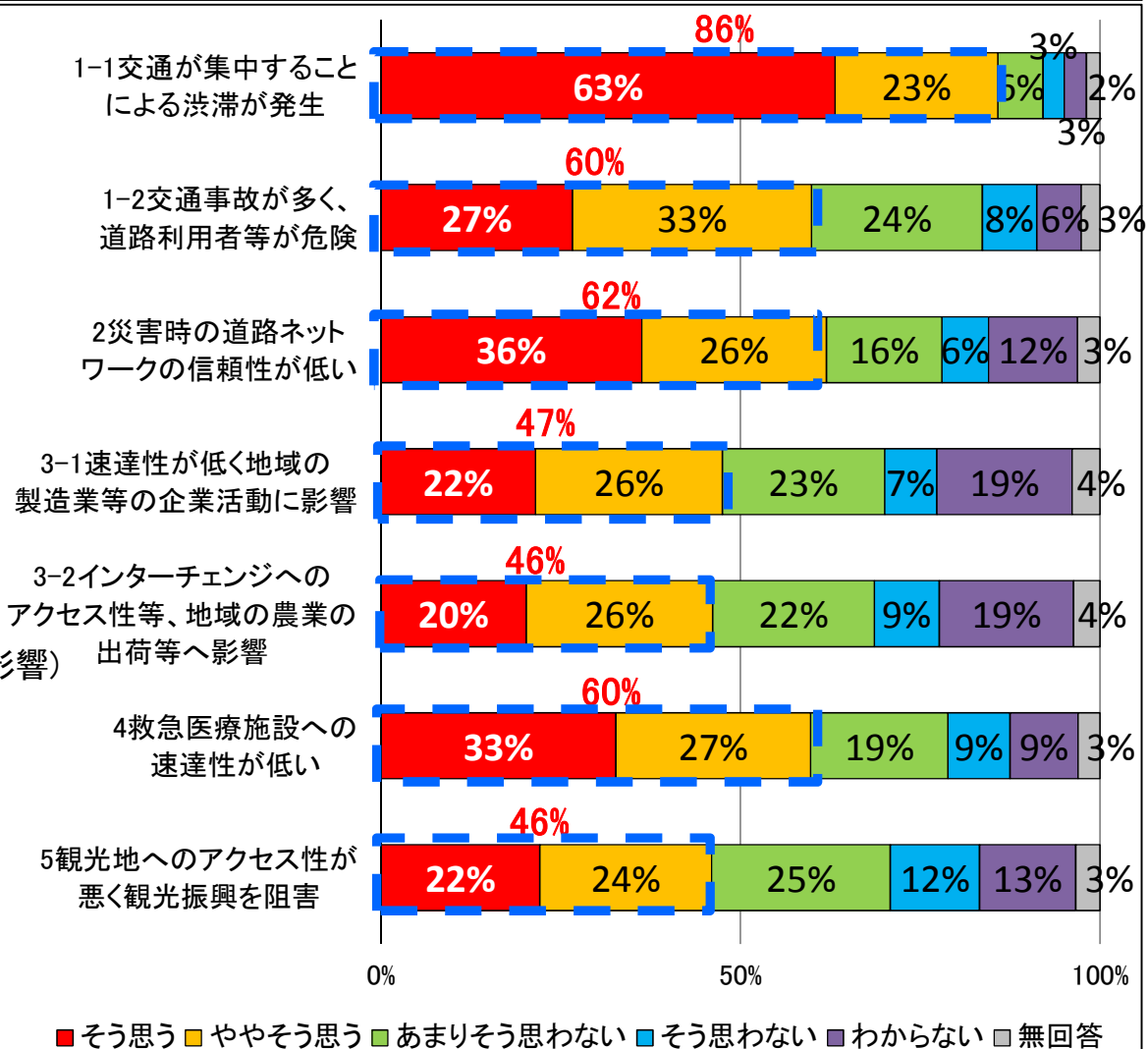
(課題: インターチェンジへのアクセス性等、地域の農業の出荷等へ影響)  
 について約5割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標】速達性向上による救急医療活動の支援

(課題: 救急医療施設への速達性が低い)  
 について約6割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標】速達性・定時性の向上による観光振興の支援

(課題: 観光地へのアクセス性が悪く観光振興を阻害)  
 について約5割が『そう思う』『ややそう思う』と回答



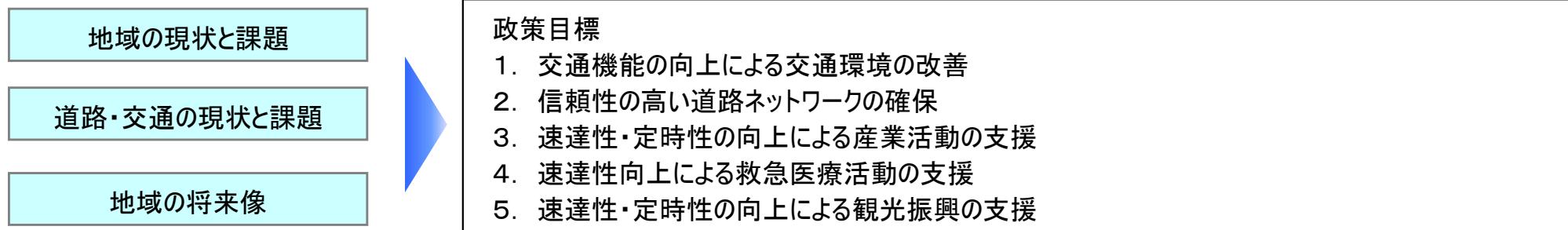
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答

N=4,085

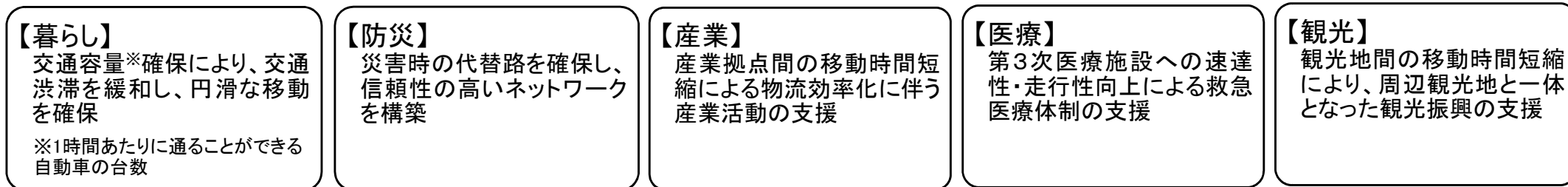
## 4-2. 政策目標の設定<対策案の検討>

### ■ 政策目標の設定

○地域の現状と課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これらの目標を達成するための対策案を検討。



### ■ 対策案の検討



基本コンセプト: 交通容量および安全性を確保し、交通環境の改善を行うとともに、災害時における信頼性の向上を図る。また、速達性・定時性の向上を図り、新たな雇用の創出等のため工業団地立地等の周辺開発の支援や救急医療活動の支援、観光の振興を目指す。

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【沿道利用・周辺家屋への配慮】

【施工中の影響】

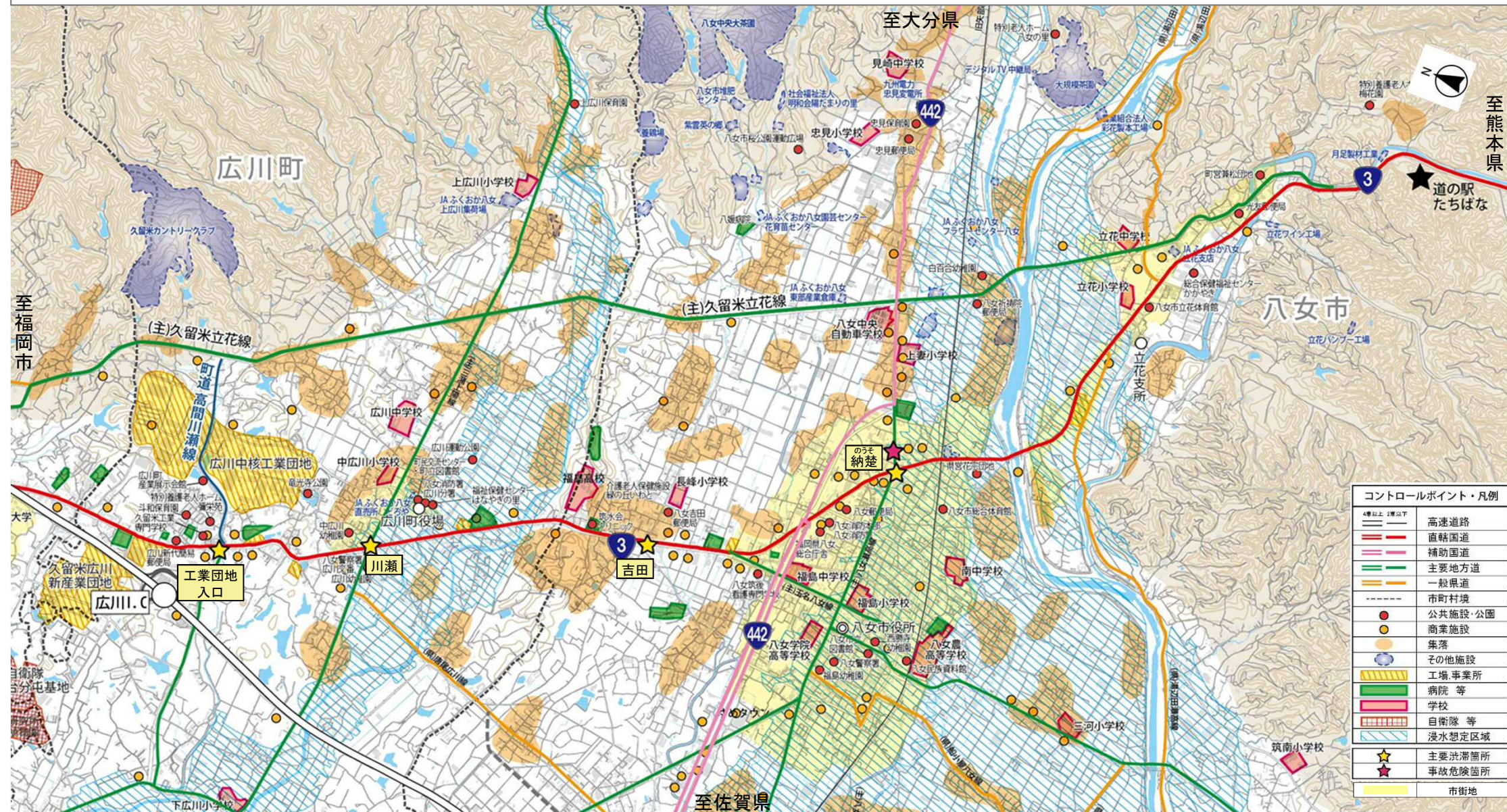
【経済性への配慮】

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

# 4-3. 複数案の設定<ルート帯案選定にあたってのコントロールポイント>

・ 国道3号の工業団地入口交差点～道の駅たちばな間は、主に市街地部と農地を通過しており、周辺には工場、事業所、商業施設や公共施設といった回避すべきコントロールポイント※が多く存在する。

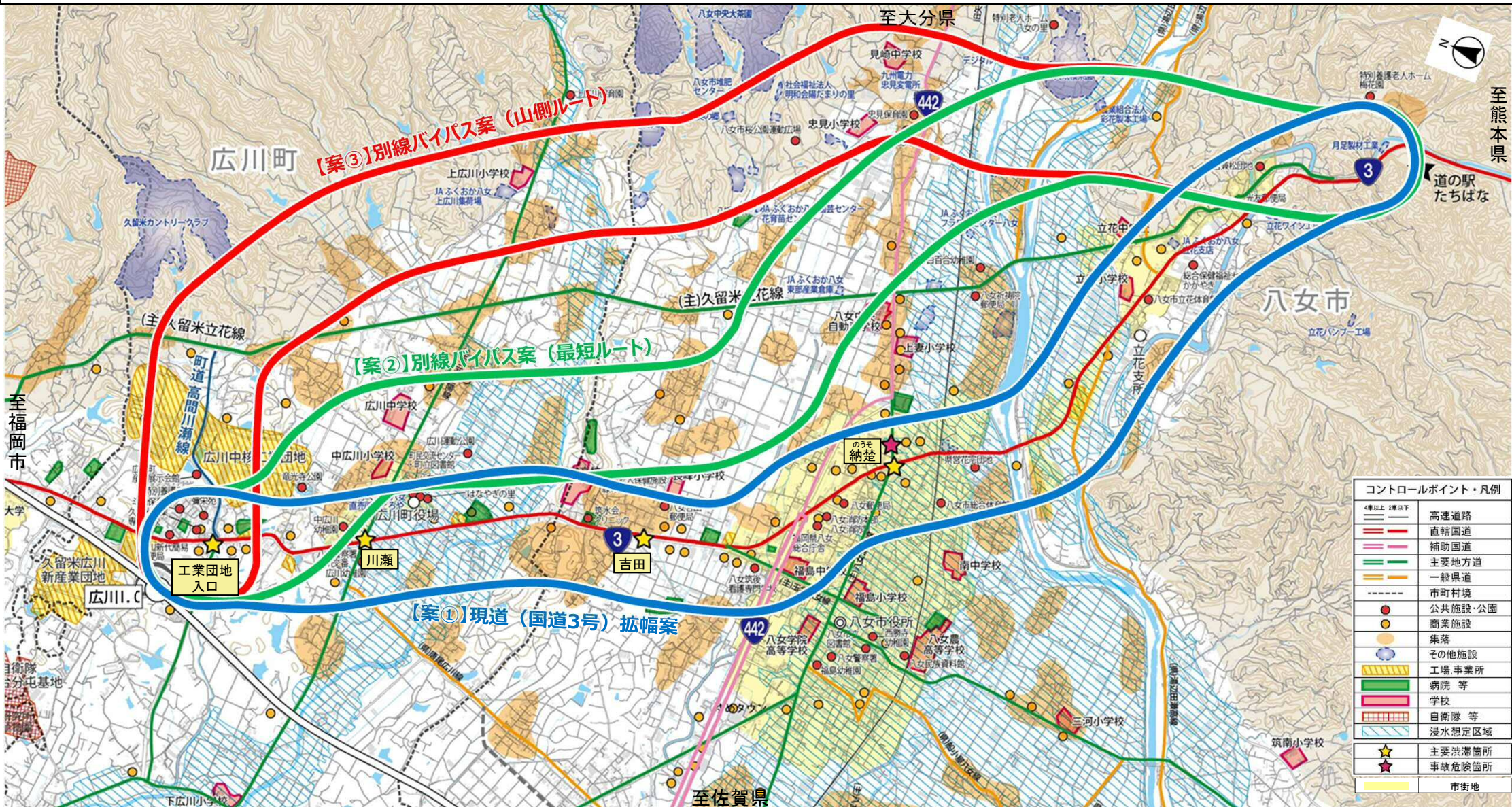
※コントロールポイントとは：道路の利便性を考慮して通過すべき地点、支障すると社会的影響等が大きく、避けるべき建物等のこと



# 4-4. 複数案の設定<ルート帯案の概要>

## ■ 比較ルートの設定

- ・【案①】国道3号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図ることで、交通混雑緩和を図る案
- ・【案②】最短ルートを基本に、商業施設や公共施設を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案
- ・【案③】山間部に沿って、集落や市街地、浸水想定区域を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案







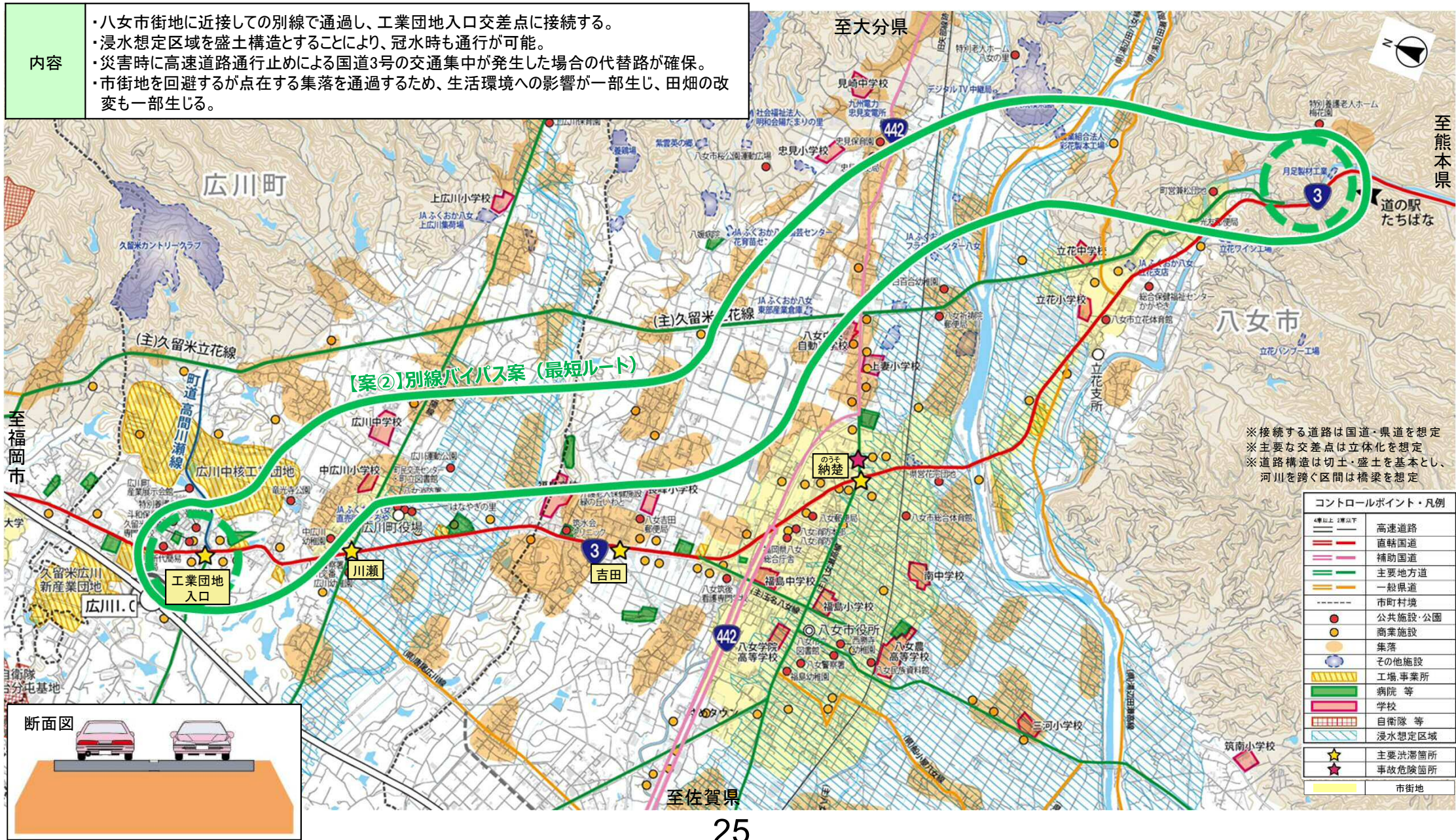
# 4-4. 複数案の設定<ルート帯案の概要>【案②】別線バイパス案(最短ルート)

■最短ルートを基本に、商業施設や公共施設を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案

## ■ポイント

### 内容

- ・八女市街地に近接しての別線で通過し、工業団地入口交差点に接続する。
- ・浸水想定区域を盛土構造とすることにより、冠水時も通行が可能。
- ・災害時に高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合の代替路が確保。
- ・市街地を回避するが点在する集落を通過するため、生活環境への影響が一部生じ、田畑の改変も一部生じる。



# 4-4. 複数案の設定<ルート帯案の概要>【案③】別線バイパス案(山側ルート)

■山間部に沿って、集落や市街地、浸水想定区域を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案



※接続する道路は国道・県道を想定  
 ※主要な交差点は立体化を想定  
 ※道路構造は切土・盛土を基本とし、  
 河川を跨ぐ区間は橋梁を想定

4車以上 2層以下	高速道路
—	直轄国道
—	補助国道
—	主要地方道
—	一般県道
---	市町村境
●	公共施設・公園
●	商業施設
●	集落
●	その他施設
■	工場・事業所
■	病院等
■	学校
■	自衛隊等
■	浸水想定区域
★	主要渋滞箇所
★	事故危険箇所
■	市街地

■ポイント

内容

- ・八女市街地と浸水想定区域を回避し、工業団地入口交差点に接続する。
- ・浸水想定区域を盛土構造とすることにより、冠水時も通行が可能。
- ・災害時に高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合の代替路が確保。
- ・広川町が検討中の広川東部地域の新たな工業団地等の計画への支援が期待できる。
- ・主要地方道久留米立花線等を介し久留米市とのアクセスが図られ、国道3号の久留米～広川間の交通分散を図る。
- ・山間地に沿って集落・市街地を回避するため、生活環境への影響は最も小さいが、自然環境の改変は最も大きい。

# 4-5. 複数案の設定<ルート帯案の比較評価>

評価項目		【案①】現道（国道3号）拡幅案	【案②】別線バイパス案（最短ルート）	【案③】別線バイパス案（山側ルート）	
項目	評価指標	現道の国道3号を拡幅する案	起終点を最短で結んだ別線バイパス案	集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案	
		約10km	約10km	約11km	
政策目標	【暮らし】交通機能の向上による交通環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量に応じた車線数が確保され、渋滞緩和が図られる</li> <li>・交通が集中し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害等の要因が残る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる</li> <li>・通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる</li> <li>・通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる</li> </ul>	
	交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が集中し、沿線店舗や接続する道路からの出入り車両による加減速を要因とした事故が懸念される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる</li> </ul>	
	【防災】信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害時の信頼性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できない</li> <li>・浸水想定区域を通過する必要があり、冠水時の通行が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる</li> <li>・別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる</li> <li>・別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能</li> </ul>
	【産業】速達性・定時制の向上による産業活動の支援	輸送の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より7分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より13分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より16分短縮</li> <li>・広川町が検討中の広川東部地域の新たな工業団地等の計画への支援が期待できる</li> </ul>
	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大するが他案より劣る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する</li> </ul>
	【観光】速達性・定時性の向上による観光振興の支援	観光地へのアクセス性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より7分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より13分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より16分短縮</li> </ul>
道路整備による影響	生活環境	大気質・騒音等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね市街地を通過するため、生活環境への影響は大きく、特に施工時における周辺への生活への配慮が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する集落を通過するため、生活環境への影響は大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する集落を概ね回避でき、生活環境への影響は小さい</li> </ul>
	自然環境	田畑・山地の改変	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落・市街地を通過し、田畑・山地の改変は少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑の改変を伴う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね田畑・山地を通過し、田畑・山地の改変を伴う</li> </ul>
	家屋・店舗への影響	移転が必要となる家屋数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落・市街地を通過するため、家屋・店舗の移転等は最も多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する集落を通過するため、家屋・店舗の移転等は多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落・市街地を概ね回避するため、家屋・店舗の移転等は少ない</li> </ul>
	沿道利用	施設へのアクセス性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現国道3号沿道の商業施設などに直接アクセスできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る</li> </ul>
	施工中の影響	施工中の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事中は交通を確保する必要があるため交通の切り回しが発生し周辺店舗や家屋への影響が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落が点在するため工事中の影響が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落や市街地を避けているため、工事中の影響が小さい</li> </ul>
	コスト	整備に要する費用	約330～380億円	約300～350億円	約250～300億円

## 5. 第2回意見聴取方法(案)

# 5-1. 第2回意見聴取(案)の概要

## ■意見聴取の項目と活用方針

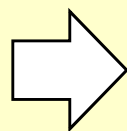
- 第2回意見聴取は、地域がより重視する政策目標や配慮事項に関して評価指標等を用いて意見を伺い、ルート帯や対応方針(案)の検討の参考とする。

### ○アンケート設問の設定(一部抜粋)

#### <政策目標>

##### 【暮らし】

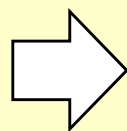
交通容量確保により、交通渋滞を緩和し、円滑な移動を確保



問: 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと  
問: 事故の危険性が低いこと

##### 【防災】

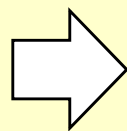
災害時の代替路を確保し、信頼性の高いネットワークを構築



問: 災害時に国道3号の代替路として利用できること

##### 【産業】

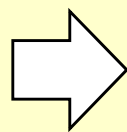
産業拠点間の移動時間短縮による物流効率化に伴う産業活動の支援



問: 輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること

#### <配慮事項>

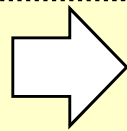
生活環境・自然環境と調和



#### アンケートにおける質問事項

問: 生活環境(騒音など)への影響が小さいこと  
問: 自然環境(動植物など)への影響が小さいこと

家屋への影響



問: 家屋移転が少ないこと

## 5-2. 第2回意見聴取方法について

### ■意見聴取の方法

- 意見聴取は第1回意見聴取と同様に、沿線自治体・団体および企業へのヒアリング、オープンハウス、沿線住民アンケート、留置きを実施予定。

### 意見聴取の対象

- ※1 ヒアリングは、沿線自治体および団体や企業等へ対面方式等での意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。  
オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を郵送し意見聴取。
- ※4 Webでのアンケート回答も可能とする。



▲ 意見聴取範囲

対象者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体および団体代表者】福岡県・八女市・広川町・団体などへの意見聴取	
	沿線自治体: 福岡県、八女市、広川町	3自治体
	各団体等: タクシー協会、商工会議所、消防署、警察、観光協会、農協、教育など	12団体程度
	【企業等】福岡県・八女市・広川町の関係企業への意見聴取	
	各企業: 製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉など	主要80社程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【地域住民】沿線の八女市、広川町の市役所等にオープンハウスを設置	
	八女市: 八女市役所等、広川町: 広川町役場等	3箇所程度
アンケート ※3 ※4	【地域住民】沿線の八女市、広川町の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	八女市 (約 54,000人)	約5,400部(抽出)
	広川町 (約 16,000人)	約1,700部(抽出)
留置き ※4	【広域的な道路利用者】道の駅にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し意見聴取	
	八女市: 道の駅「たちばな」、熊本県山鹿市: 道の駅「鹿北」、 広川町: 九州縦貫自動車道 広川SA(上り線)、佐賀県基山町: 九州縦貫自動車道 基山PA(下り線)	4箇所程度

### ■ 住民アンケート (案)

#### ① 調査概要

- アンケート調査の趣旨やアンケートの対象者、今後の手続きの流れ等の説明。

#### 広川町～八女市における国道3号の道路計画に関する第2回アンケートにご協力をお願いします

国道3号は、福岡県北九州市を起点として熊本県熊本市を経由し、鹿児島県鹿児島市に至る延長431kmの道路です。

今回は、国道3号(広川町～八女市)に関し、最適なルート帯および構造の検討に必要な重視すべき事項について皆様のご意見をお聞きするものです。

本アンケートへのご協力をお願いします。



#### ■ アンケート対象者

本アンケートは、八女市・広川町にお住まいの方から無作為に抽出し、配布しています。ご家族の中で国道3号を最も多く利用される方がご回答くださいますようお願いいたします。

#### ■ 回答の提出方法及び締切


○回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】 同封しています「返信はがき」にご記入頂き、

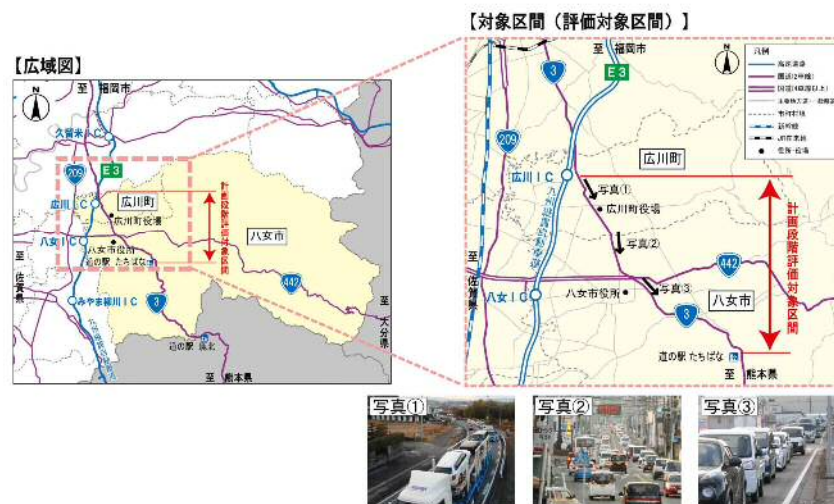
令和●年●月●日(●)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】 インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、令和●年●月●日(●)までに、回答をお願いいたします。

A 右記URLをアドレスバーに入力  QRコード

B QRコードからアクセス QRコードはこちら 

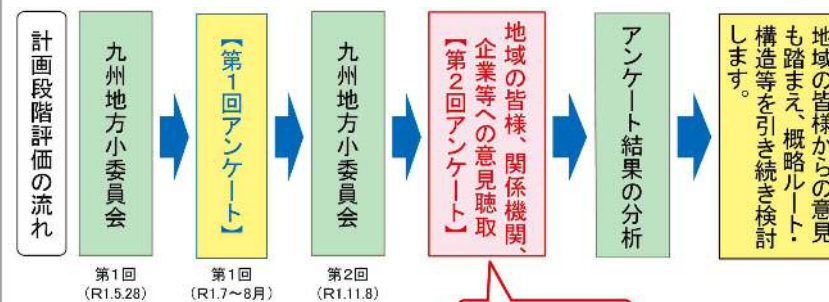
#### 国道3号(広川町～八女市)対象区間位置図



#### ■ 地域の皆様からのご意見は「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



#### ■ 九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。



### ■ 住民アンケート (案)

#### ① 調査概要

- 政策目標や配慮事項、アンケートの質問内容等の説明。

#### ルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項

**1 2 【暮らし】**

- 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと
- 事故の危険性が少ないこと

**5 【医療】**

- 救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること

**4 【産業】**

- 輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること

**3 【防災】**

- 災害時に高速道路の通行止めで交通が集中する国道3号の代替路として利用できること
- 国道3号の冠水時に代替路として利用できること

**6 【観光】**

- 観光地への所要時間が短いこと

#### <道路整備による影響>

- ⑦生活環境（騒音など）への影響が小さいこと
- ⑩沿道からの利用が便利なこと

- ⑧自然環境（動植物など）への影響が小さいこと
- ⑪施工中の影響が小さいこと

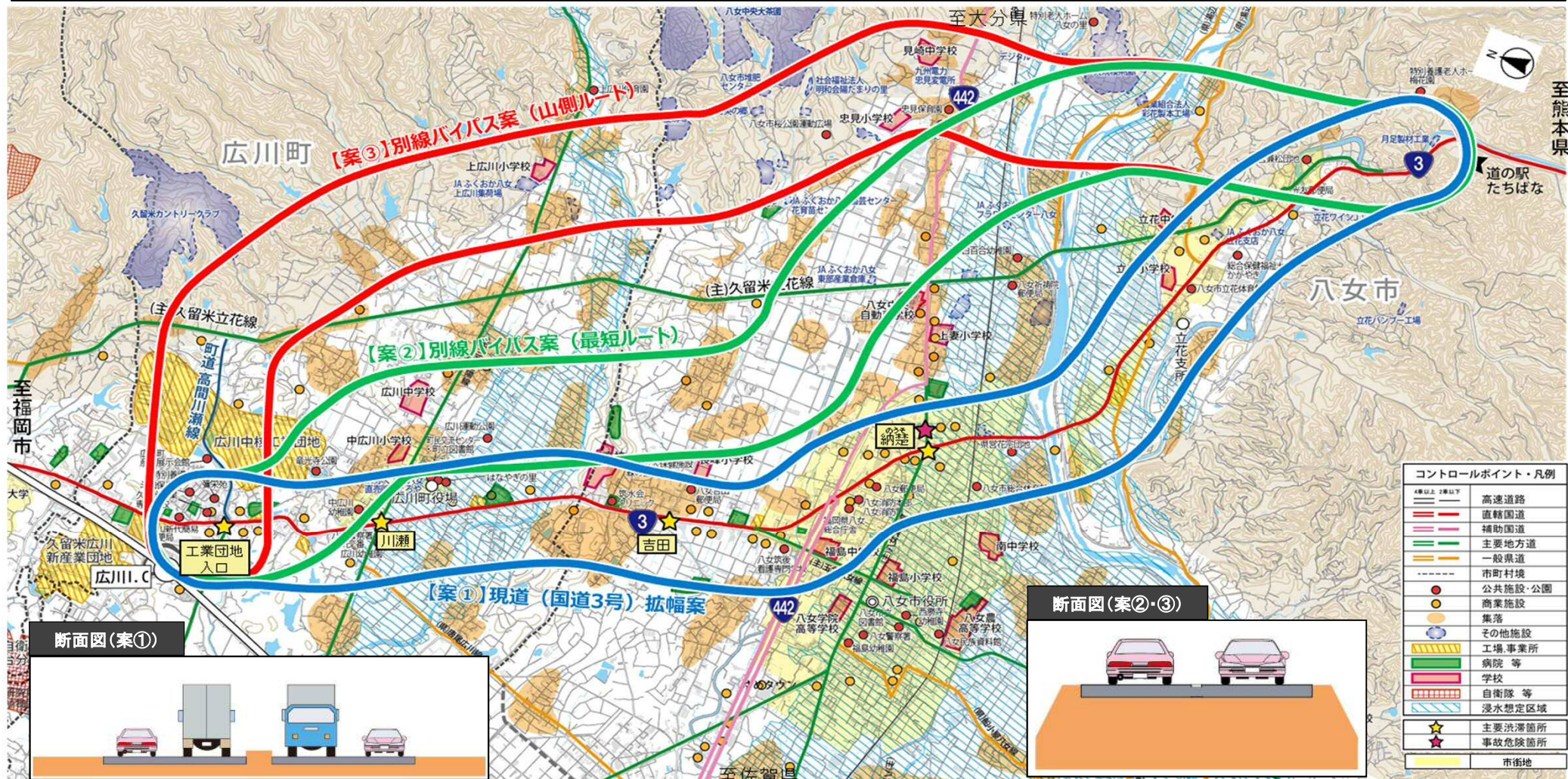
- ⑨家屋や店舗の移転が少ないこと
- ⑫整備費用が安いこと

### ■ 住民アンケート(案)

#### ② アンケート調査票

- 各ルート帯案の立案趣旨や概要の説明。

- ・【案①】国道3号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図ることで、交通混雑緩和を図る案
- ・【案②】最短ルートを基本に、商業施設や公共施設を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案
- ・【案③】山間部に沿って、集落や市街地、浸水想定区域を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案



### ■ 住民アンケート(案)

#### ② アンケート調査票

- 各ルート帯案の比較表の説明。

評価項目		【案①】現道(国道3号)拡幅案	【案②】別線バイパス案(最短ルート)	【案③】別線バイパス案(山側ルート)	
項目	評価指標	現道の国道3号を拡幅する案	起終点を最短で結んだ別線バイパス案	集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案	
		約10km	約10km	約11km	
政策目標	【暮らし】交通機能の向上による交通環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量に応じた車線数が確保され、渋滞緩和が図られる</li> <li>交通が集中し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害等の要因が残る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる</li> <li>通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる</li> <li>通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる</li> </ul>	
	交通安全の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通が集中し、沿線店舗や接続する道路からの出入り車両による加減速を要因とした事故が懸念される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる</li> </ul>	
	【防災】信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害時の信頼性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できない</li> <li>浸水想定区域を通過する必要があり、冠水時の通行が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる</li> <li>別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる</li> <li>別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能</li> </ul>
	【産業】速達性・定時制の向上による産業活動の支援	輸送の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より7分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より13分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より16分短縮</li> <li>広川町が検討中の広川東部地域の新たな工業団地等の計画への支援が期待できる</li> </ul>
	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大するが他案より劣る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する</li> </ul>
【観光】速達性・定時性の向上による観光振興の支援	観光地へのアクセス性	<ul style="list-style-type: none"> <li>広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より7分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より13分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より16分短縮</li> </ul>	
道路整備による影響	生活環境	大気質・騒音等	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね市街地を通過するため、生活環境への影響は大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点在する集落を概ね回避でき、生活環境への影響は小さい</li> </ul>	
	自然環境	田畑・山地の改変	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落・市街地を通過し、田畑・山地の改変は少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね田畑・山地を通過し、主に田畑の改変を伴う</li> </ul>	
	家屋・店舗への影響	移転が必要となる家屋数	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落・市街地を通過するため、家屋・店舗の移転等は最も多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点在する集落を通過するため、家屋・店舗の移転等は多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落・市街地を概ね回避するため、家屋・店舗の移転等は少ない</li> </ul>
	沿道利用	施設へのアクセス性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>現国道3号沿道の商業施設などに直接アクセスできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る</li> </ul>
	施工中の影響	施工中の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中は交通を確保する必要があるため交通の切り回しが発生し周辺店舗や家屋への影響が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落が点在するため工事中の影響が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落や市街地を避けているため、工事中の影響が小さい</li> </ul>
	コスト	整備に要する費用	約330~380億円	約300~350億円	約250~300億円





**END**